

講義科目4-4

呼吸循環器病学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

獣医学が対象とする動物（主に犬、猫）の呼吸器系および循環器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患と循環器疾患の原因、病態生理、症状、診断法と治療法を学ぶ。

(1) 呼吸器の構造と機能、呼吸器疾患の臨床症状

一般目標：

上部気道および下部気道の構造と機能を理解し、呼吸器疾患で観察される臨床症状と発現機序の基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 上部気道および下部気道の基本構造を説明できる。
- 2) 呼吸器のガス交換と呼吸調節の機構を説明できる。
- 3) 呼吸器疾患の臨床症状と検査法（聴診、打診）を説明できる。

(2) 呼吸器病の診断法

一般目標：

各種呼吸器疾患に関する検査法の基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 呼吸器疾患の検査法（聴診、打診）を説明できる。

(3) 上部気道疾患

一般目標：

鼻・咽喉頭の疾患の原因、発生機序、症状、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 上部気道の感染性疾患の原因、症状、診断法と治療法を説明できる。

- △2) 喉頭麻痺等の上部気道の非感染性疾患の原因、症状、診断法と治療法を説明できる。

(4) 気管と気管支の疾患

一般目標：

気管と気管支疾患の原因、発生機序、病態生理、症状、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 気管支炎を説明できる。
- △2) 猫の喘息などのアレルギー性疾患を説明できる。
- △3) 気管虚脱や気管支拡張症を説明できる。

(5) 肺の疾患

一般目標：

肺疾患の原因、発生機序および病態生理、症状、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 肺炎の原因、分類、病態、診断法と治療法を説明できる。
- △2) 肺水腫等の肺疾患の原因、分類、病態、診断法と治療法を説明できる。

(6) 胸腔と縦隔の疾患

一般目標：

胸腔と縦隔の疾患の原因、発生機序および病態生理、症状、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 胸膜滲出と気胸の原因、病態、症状、診断法と治療法を説明できる。

(7) 循環器の構造と機能、循環器疾患の臨床症状

一般目標：

循環器の構造と機能を理解し、循環器疾患で観察される臨床症状と発現機序の基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 循環器の構造と機能を説明できる。
- 2) 特徴的な循環器疾患の症状を説明できる。

(8) 循環器疾患の診断法

一般目標：

各種循環器疾患の診断法と検査法の基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 循環器疾患の聴診所見を説明できる。
- 2) 循環器疾患の生理学的検査法を説明できる。
- 3) 循環器疾患の画像診断法を説明できる。

(9) 心不全

一般目標：

心不全の定義、重症度分類、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 心不全の定義、種類と重症度分類を説明できる。
- △2) 心不全の病態、診断法と治療法を説明できる。

(10) 不整脈

一般目標：

不整脈の心電図上の特徴と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 各種不整脈の心電図上の特徴を説明できる。

(11) 先天性心疾患

一般目標：

先天性心疾患の病態生理、症状、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 先天性心疾患を説明できる。

(12) 後天性弁膜症

一般目標：

弁膜症の原因、病態生理、症状、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 犬の僧帽弁閉鎖不全症を説明できる。

(13) 心筋・心膜疾患

一般目標：

心筋・心膜疾患の定義、病態生理、症状、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 心筋症の分類と病態を説明できる。
- △2) 心筋炎を説明できる。
- △3) 心タンポナーデの原因と症状を説明できる。

(14) 犬糸状虫症

一般目標：

犬糸状虫症の原因、病態生理、診断法と治療法を修得する。

到達目標：

- △1) 犬糸状虫症の病態生理、症状、診断法を生活環と関連させて説明できる。
- △2) 犬糸状虫症の治療法と予防法を説明できる。